

H30年度初級手合せ会宿題に関して

大師流小児はりの会関東

提出回	宿題	鍼頭叩き表の提示
初級第1回		○
初級第2回	① 子どもの皮膚を触ってみよう ② 臨床に繋がるレポート	○
初級第3回	① 子どもの皮膚を診分けてみよう ② 臨床に繋がるレポート	任意
初級第4回	① 子どもに小児はりをしてみよう ② 臨床に繋がるレポート	任意
初級第5回	① 症例報告	任意
中級第1回	① カン虫の子どもが来ました！ ② 症例報告	—

- ・ 鍼頭叩きは第2回手合わせ会までに示指・中指・薬指まで終わらせましょう。
「一日最低 20 分 & 30 日間連続」の鍼頭叩きができた方には、その時点で終わった指までのゴールドシールを受講票に貼ります。
第3回以降に「一日最低 20 分 & 30 日間連続」を達成した方や、まだ終わっていない指の鍼頭叩きをしてきた方は、申し出ていただければゴールドシールを貼ります。
- ・ 「臨床に繋がるレポート」「症例報告」はメールでの提出になります。それ以外の宿題は用紙に記入して提出してください。
- ・ 事情により欠席される方は翌回以降に提出して下さい。
- ・ 提出された宿題を基に手合わせ会中にフォローアップを行います。
- ・ 中級第2回以降用の宿題は、中級第1回で配布します。

臨床に繋がるレポート

基礎訓練や診断・施術技術の習得と並行しながら、子どもへの施術を実践しましょう。

ご自身のお子さんでも知り合いのお子さんでもかまいません。そして、施術内容を「症例報告」にして、講師やスタッフに講評してもらいましょう。それが、上達への近道です。

すぐに施術を実践できない方は、できるかぎり子どもを観察したり遊んだり、保護者と子育てについて話したり小児はりを紹介したりしてみましょ。そして、結果を「臨床に繋がるレポート」として、講師やスタッフに講評してもらいましょう。

うまくいった、失敗した、いろんなことを一緒に考えて前に進みましょう。

【課題】以下の①～③から一つ選び、症例報告やレポートとして提出して下さい。

- ① 子どもに実際に施術して(感想、質問などでも構いませんが、「症例報告」が目標です)
 - * 症例報告の書き方は別紙を参照
- ② 子どもに接して(子どもを観察したり、遊んだりした感想など)
- ③ 保護者を説得して(子育てで困っていることを聞いたり、小児はりを説明した結果など)

①を選んだ人へ

- ◆ 問診では報告を書くのに必要な情報をしっかりと聞き取りましょ。施術時には感じたこと・考えたことをきちんと記録ましょ。そうすることで、充実した報告になります。
- ◆ 現在までに施術(練習)させてもらった子どもの報告でも、新たに施術(練習)させてもらった報告でもかまいません。1回のみでの施術(練習)結果でも、継続治療の途中経過でも可。途中経過の報告の場合は、初めて読む人にもわかるように、これまでの概要も書いてください。
- ◆ 学生の方は家族・親戚・友人等の協力を得て、できるだけ小児はりを実践ましょ。

②③を選んだ人へ

- ◆ 形式は自由です。分かりやすく報告してください。

【提出方法】

- ◆ ワードかテキスト形式で作成したデータを、**手合わせ会の2週間前まで**に大師流小児はりの会関東事務局(info@daishiryu.com)まで、メール添付で提出。添付できない場合は、メール本文に直接記入したものでも可。件名は「初級第〇回提出レポート@〈氏名〉」としてください。
- ◆ 提出されたレポートはスタッフが講評を入れて返却ましょ。

【公表について】

提出されたレポートは手合わせ会などで公表する場合があります。また、雑誌や各地の鍼灸師会に投稿する場合があります。公表や投稿に不都合がある方は、レポートにその旨を記載してください。

子どもの皮膚を触ってみよう

子どもの皮膚は、大人の皮膚とは全然違います。実際に子どもの皮膚に触れることが、小児鍼を学ぶ上で最も重要です。親戚・友人・隣人等の協力を得て、幅広い年齢層の子どもの皮膚に触らせてもらいましょう。その柔らかさに、きっと驚くはずです。

※ 環指で、前腕の陽経面を、小児鍼をする時と同じ動き・リズムで、(少ない回数で)触る。

★ 実際に触ったら、感じたことを言葉にして表現しましょう。

★ 何らかの疾病を持っているなど、特記事項があれば、* 欄に記入して下さい。

(1) 大人の皮膚を触って感じたこと

()さん []歳/男・女 ・ ・ ・	()さん []歳/男・女 ・ ・ ・	()さん []歳/男・女 ・ ・ ・
*	*	*

(2) 子どもの皮膚を触って感じたこと

A) 0～1 歳児

()ちゃん []月・歳/男・女 ・ ・ ・	()ちゃん []月・歳/男・女 ・ ・ ・	()ちゃん []月・歳/男・女 ・ ・ ・
*	*	*

B) 2～5 歳児

()ちゃん []歳/男・女 ・ ・ ・	()ちゃん []歳/男・女 ・ ・ ・	()ちゃん []歳/男・女 ・ ・ ・
*	*	*

C) 6～12 歳児

()ちゃん []歳/男・女 ・ ・ ・	()ちゃん []歳/男・女 ・ ・ ・	()ちゃん []歳/男・女 ・ ・ ・
*	*	*

☆ もっと多くの大人・子どもを触ったり、書ききれない場合は、別紙に記入して下さい。

☆ 第2回手合せ会で回収し、スタッフがコメントを添えた後、第3回手合せ会で返却します。

☆ 必要な方はコピーをとって保管して下さい。

《スタッフ記入欄》

子どもの皮膚を診分けてみよう

今回『皮膚の診かた』を学びました。それに基づいて、もう一度子どもの皮膚を触って下さい。

柔らかい皮膚とは、硬い皮膚とは、どんな感じか、指頭に全感覚を集中して判別しましょう。

★ 「皮膚の柔らかさ・硬さ」という観点から感じたことを言葉にし、相手に伝えるよう表現しましょう。

★ 「皮膚の硬さ」を自分なりに判定し、枠内右下の【 】に数字で記入して下さい。

【1. とても柔らかい 2. 柔らかい 3. どちらともいえない(中間) 4. 硬い 5. とても硬い 6. 分からない】

★ 何らかの疾病を持っているなど、特記事項があれば、* 欄に記入して下さい。

★ 見た目・性格等の特徴(よくしゃべる／食べる／笑う、弱々しく力がない等)についても記録しましょう。

A) 0～1 歳児

()ちゃん[]月・歳/男・女 . . . * 【 】	()ちゃん[]月・歳/男・女 . . . * 【 】	()ちゃん[]月・歳/男・女 . . . * 【 】
--	--	--

B) 2～5 歳児

()ちゃん[]歳/男・女 . . . * 【 】	()ちゃん[]歳/男・女 . . . * 【 】	()ちゃん[]歳/男・女 . . . * 【 】
--	--	--

C) 6～12 歳児

()ちゃん[]歳/男・女 . . . * 【 】	()ちゃん[]歳/男・女 . . . * 【 】	()ちゃん[]歳/男・女 . . . * 【 】
--	--	--

(1) 柔らかい皮膚にはどんな特徴がありましたか？ 気づいた点を挙げて下さい。

(2) 硬い皮膚にはどんな特徴がありましたか？ 気づいた点を挙げて下さい。

- ☆ もっと多くの子どもを触ったり、書ききれない場合は、別紙に記入して下さい。
- ☆ 第3回手合わせ会で回収し、スタッフがコメントを添えた後、第4回手合わせ会で返却します。
- ☆ 必要な方はコピーをとって保管して下さい。

《スタッフ記入欄》

子どもに小児はりをしてみよう

小児はり上達の極意は、できるだけ多くの子どもにはりをして、たくさんの失敗から学ぶことです。今回は実際に子どもに小児はりをしてみましょう。学生の方は家族・友人などに協力してもらって、子どもに小児はりをさせてもらいましょう。どうしても子どもが見つからない場合は、大人に小児はりをした結果を報告して下さい。

施術対象者名 性別・年齢	()ちゃん 男・女 歳	()ちゃん 男・女 歳	()ちゃん 男・女 歳
主訴 *ない場合は「なし」			
既往症 など			
子どもは大人しく施術 させてくれましたか？ 何か工夫しましたか？			
皮膚の硬さは？「1 歳」「3歳」「10歳」など皮 膚年齢で示しましょう。			
体表のどこに過緊張 (反応点)がありました か？			
施術後に表情や皮膚 にどんな変化がありま したか？			
はりを受けた子どもの 感想は？「気持ちい い」と言いましたか？			

施術した感想は？ どんな発見や驚きがありましたか？

- ☆ 4人以上診たり、記入しきれない場合は、この用紙をコピーして利用して下さい。
- ☆ 第4回手合せ会で回収し、スタッフがコメントを添えた後、第5回手合せ会で返却します。
- ☆ 必要な方はコピーをとって保管して下さい。

《スタッフ記入欄》

初級宿題—3月10日までに提出

症例報告を書いてみよう

◆中級では4回以上の出席と、4回以上の症例報告（小学校6年生までの子どもに「大師流小児鍼」だけで施術した症例）提出が修了要件です。症例報告を介し、小児臨床を充実させる事を目的としています。今回はその練習のつもりで、症例報告に挑戦してみましよう。

既に「臨床に繋がるレポート」で症例報告に挑戦済みの方は、新しい症例でも結構ですし、以前報告した症例のその後の経過報告でも構いません（その場合は、初めて読む人にもわかるよう、これまでの経過も記しましょう）。

症例報告の書き方は裏面を参考にしてください。

【提出方法】

- ①ワードかテキスト形式で作成したデータを、大師流小児はりの会関東事務局 (info@daishiryu.com) まで、メール添付で提出。添付できない場合は、メール本文に直接記入したものでも可。
件名は「初級第5回提出症例報告@（氏名）」としてください。
- ②提出期限2019年3月10日（日）
- ③第5回手合せ会時に講評を入れて返却します。

【公表について】

提出された症例報告は手合せ会などで発表する場合があります。また、当会ホームページなどに掲載、または、雑誌や各地の鍼灸師会に投稿する場合があります。掲載や投稿に不都合がある場合は、提出時にその旨を明記いただければ、手合せ会以外では公表しません。

症例報告の書き方

学会発表の症例報告では「目的」「症例」「結果（経過）」「考察」「結語」といった項目を立てて書く形式が通例です。以下の項目を参考に、1,500字以内にまとめてください。

手合わせ会で提出いただく症例が学会発表と少し違う点は、お子さんや保護者の顔が見えてくるような、生き生きした報告が望まれる点です。実際の会話を記録するなど、工夫をしてみてください。「わかりやすい小児鍼の実際」の症例も参考にしてみてください。

「題名・提出者氏名」

「目的」

この報告のテーマは何か、どんな症例か、疾患の背景、などを簡潔に示します。

「症例」

- ① 患者名（イニシャルで表記）・性別・年齢・初診日
- ② 主訴
- ③ 現病歴（初診までの主訴の経過）
- ④ 既往歴、家族歴
- ⑤ その他、必要と思われる情報
（主訴以外の愁訴、家族構成、出産状況・出生時体重、母乳か人工乳か、離乳の時期など）

「治療・経過」

以下の内容を、初診、および第2診以降の経過について記します。

- ① 所見（身体所見、どんな子か＜性格、特徴、施術時の様子・表情など＞、どんな親か、腹部打診音、皮膚の硬さ柔らかさ、過緊張部位など）
- ② 治療内容（施術部位、ドーゼ）
- ③ 施術後の子どもの様子や所見の変化、保護者との会話内容など

「考察」

本症例の結果や経過に対する考察、課題など。

「結語」

この報告のポイント、いちばん言いたかった内容を、簡潔にまとめます。

症例報告を書いてみよう

◆中級では4回以上の出席と、4回以上の症例報告（小学校 6 年生までの子どもに「大師流小児鍼」だけで施術した症例）提出が修了要件です。症例報告を介し、小児臨床を充実させましょう！

※ 一度に2本以上提出した場合も、1回分としてカウントされます。

※ 症例報告の提出が難しい方(学生など)は、「保護者の説得」、「子どもとの接し方」等、子どもに触れることによって得た事を症例報告に代えて提出しても構いません。その場合は症例報告が作成できない理由や反省・改善点などもご記載ください。

<提出・返却方法>

① ワードかテキスト形式で作成したデータを、手合わせ会の2週間前までに大師流小児はりの会関東事務局 (info@daishiryu.com) まで、メール添付で提出。添付できない場合は、メール本文に直接記入したのもでも可。

件名は「中級第〇回提出症例報告@（氏名）」としてください。

②提出された症例報告はスタッフが講評を入れて返却します。

<症例報告の公表>

提出された症例報告は手合わせ会などで発表する場合があります。また、当会ホームページなどに掲載、または、雑誌や各地の鍼灸師会に投稿する場合があります。掲載や投稿に不都合がある場合は、提出時にその旨を明記いただければ、手合わせ会以外では公表しません。

<症例報告の書き方>

別紙参照。

文字数は 1,500 字以内にまとめてください。

初級宿題—第1回中級手合わせ会予習用

中級参加予定者は、第1回中級手合わせ会に備えて予習してきてください。わからないことは谷岡先生の本や育児書で調べましょう。

当日は講義を聴いて、気づいたことなどを書き足していきましょう！

カンムシのお子さんが来ました！

1. カンムシの症状には、どのようなものがありますか？
2. カンムシの原因には、どのようなものがありますか？
3. 初診の問診で何を聞きますか？ 実際の臨床だと思って話し言葉で書いてみましょう。
4. 保護者からどんな質問が来るとおもいますか？ それにはどう答えますか？ 話し言葉で書いてみましょう。
5. 保護者との信頼関係ができてきたら、少しずつ生活面の助言をしたいものです。カンムシの小児の保護者が気をつけるべきことには、どんなものがありますか？